



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 ロート製薬株式会社

コード番号 4527

URL <https://www.rohto.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瀬木 英俊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 CFO (氏名) 斉藤 雅也 (TEL) 06-6758-8223

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	91,624	11.8	13,663	16.8	14,491	△10.1	10,650	△9.5
2026年3月期第1四半期	81,964	19.9	11,699	△0.8	16,127	31.4	11,769	38.7

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 13,929百万円(79.3%) 2026年3月期第1四半期 7,769百万円(△51.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	47.14	46.50
2026年3月期第1四半期	52.09	51.39

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	487,151	328,459	63.5
2026年3月期	485,771	320,174	62.1

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 309,106百万円 2026年3月期 301,446百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	21.00	—	25.00	46.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	372,300	8.3	45,000	9.4	47,400	△1.2	35,200	2.8	155.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	236,178,310株	2026年3月期	236,178,310株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	10,214,018株	2026年3月期	10,214,018株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	225,964,292株	2026年3月期1Q	225,964,374株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国の経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方、食料品やエネルギー価格の上昇が家計の実質購買力を圧迫し、個人消費の重しとなりました。訪日外国人旅行者数は前年同期を下回ったものの、円安傾向の継続によりインバウンド需要は堅調に推移しました。世界経済は、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の緊迫化、中国経済の減速懸念などにより、景気の下振れリスクが高まっており、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社は2026年5月、新たに「Connect for Well-being & Longevity」を掲げ、ロングevityを推進し、実現する企業へと進化していくことを宣言しました。医薬品、スキンケア、食品、再生医療などの知見をつなぎ、創業以来培ってきた細胞科学を基盤として、人々がより長く、健やかに、若々しく生きられる社会の実現を目指し、その実現に向けて日々取り組んでおります。

その結果、売上高は916億2千4百万円（前年同期比11.8%増）と大幅な増収となりました。国内では、アイケアに加え、「肌ラボ」などのスキンケア商品が好調に推移し、増収となりました。海外では、ユーヤンサン・インターナショナル社をはじめ、アジアセグメントが好調に推移したことにより、増収となりました。

利益面では、広告費、販売促進費、人件費などの販売費及び一般管理費が増加したものの、営業利益は136億6千3百万円（同16.8%増）となりました。前年同期に発生した一過性の受取配当金の反動減により、経常利益は144億9千1百万円（同10.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は106億5千万円（同9.5%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

（日本）

外部顧客への売上高は、428億6千4百万円（前年同期比5.2%増）となりました。

「肌ラボ」、若者向け目薬、「ロートV5」、「オバジ」等が好調に推移いたしました。国内グループ会社におきましては、ロートニッテン㈱、クオリテックファーマ㈱、天藤製薬㈱が増収に寄与しました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、当初予定していた広告費や研究開発費の一部の執行が次期以降にずれ込んだことに加え、天藤製薬㈱の増収等により、68億6千7百万円（同8.8%増）と増益となりました。

（アメリカ）

外部顧客への売上高は、54億6千5百万円（前年同期比8.3%増）となりました。

米国が堅調に推移したことに加え、ブラジルの「肌ラボ」が引き続き好調に推移しました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、販売費及び一般管理費が増加したものの、増収により2億2千6百万円（同22.6%増）と大幅な増益となりました。

（ヨーロッパ）

外部顧客への売上高は、66億8千4百万円（前年同期比19.9%増）と大幅な増収となりました。

ポーランドのダクス・コスメティクス社の「Hadalabo Tokyo」、「YOSKINE」が好調に推移したことに加え、英国において前連結会計年度に容器供給業者の倒産により一時的に生産量が低下していた消炎鎮痛剤の販売も回復し、好調に推移しました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、ダクス・コスメティクス社が好調に推移したことに加え、英国において消炎鎮痛剤の生産正常化によって原価率が改善し、6億6千4百万円（同392.7%増）と大幅な増益となりました。

(アジア)

外部顧客への売上高は、356億4百万円（前年同期比19.7%増）と大幅な増収となりました。

ベトナム、マレーシア、ミャンマーなどの東南アジアが好調に推移したことに加え、ユーヤンサン・インターナショナル社や中国も堅調に推移しました。商品別では、目薬、「肌ラボ」、「アクネス」等が好調に推移し、増収に寄与いたしました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、増収効果により、56億7千6百万円（同18.8%増）と大幅な増益となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は4,871億5千1百万円となり、前連結会計年度末より13億8千万円増加いたしました。これは、投資有価証券が27億3千9百万円、原材料及び貯蔵品が18億8千5百万円、退職給付に係る資産が16億2千8百万円それぞれ増加した一方、電子記録債権が41億2千3百万円減少したこと等によるものであります。

負債は1,586億9千2百万円となり、前連結会計年度末より69億4百万円減少いたしました。これは、流動負債のその他が44億8千8百万円、短期借入金が25億9千6百万円、未払法人税等が21億4千1百万円それぞれ減少した一方、支払手形及び買掛金が24億2千1百万円増加したこと等によるものであります。

また、純資産につきましては3,284億5千9百万円となり、前連結会計年度末より82億8千4百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が50億1百万円、為替換算調整勘定が24億3千5百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

[2027年3月期 通期の連結業績予想]

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	369,500	43,800	46,100	34,500	152.68
今回修正予想(B)	372,300	45,000	47,400	35,200	155.78
増減額(B-A)	2,800	1,200	1,300	700	—
増減率(%)	0.8	2.7	2.8	2.0	—

連結業績予想につきましては、予想為替レートを1ドル155円から158円に、1中国元22円から23円に修正したことから、当第1四半期連結累計期間でアジアセグメント、日本セグメント及びヨーロッパセグメントが想定を上回り好調に推移したことにより、2026年5月13日に公表した連結業績予想を修正いたします。売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益全てが前回発表を上回る予定です。前連結会計年度に対しても増収となり、営業利益、親会社株主に帰属する当期純利益については増益となる見込みです。

詳細につきましては、本日（2026年8月6日）公表いたしました「業績予想の修正のお知らせ」をご参照ください。

※上記の予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	86,816	84,771
受取手形及び売掛金	52,684	50,794
電子記録債権	24,592	20,469
商品及び製品	38,134	38,038
仕掛品	5,278	5,580
原材料及び貯蔵品	22,265	24,151
その他	9,930	11,151
貸倒引当金	△429	△393
流動資産合計	239,274	234,563
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	34,255	34,467
その他（純額）	58,756	59,902
有形固定資産合計	93,011	94,369
無形固定資産		
商標権	40,152	40,170
のれん	34,242	34,216
その他	9,504	9,648
無形固定資産合計	83,899	84,035
投資その他の資産		
投資有価証券	55,904	58,643
退職給付に係る資産	3,046	4,674
その他	18,446	18,773
貸倒引当金	△7,899	△7,992
投資その他の資産合計	69,498	74,099
固定資産合計	246,409	252,504
繰延資産		
社債発行費	87	83
繰延資産合計	87	83
資産合計	485,771	487,151

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,937	23,359
電子記録債務	1,709	1,608
短期借入金	24,742	22,145
未払費用	22,715	22,408
未払法人税等	6,572	4,431
賞与引当金	4,089	2,204
役員賞与引当金	75	38
その他	36,507	32,018
流動負債合計	117,349	108,214
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	25,316	25,303
長期借入金	2,872	2,713
退職給付に係る負債	707	2,249
リース債務	7,314	7,940
その他	12,035	12,270
固定負債合計	48,246	50,477
負債合計	165,596	158,692
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,504	6,504
利益剰余金	256,618	261,620
自己株式	△9,939	△9,939
株主資本合計	253,183	258,185
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,285	14,523
為替換算調整勘定	31,333	33,768
退職給付に係る調整累計額	2,643	2,627
その他の包括利益累計額合計	48,262	50,920
新株予約権	382	382
非支配株主持分	18,346	18,970
純資産合計	320,174	328,459
負債純資産合計	485,771	487,151

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	81,964	91,624
売上原価	36,111	40,030
売上総利益	45,852	51,593
販売費及び一般管理費	34,153	37,930
営業利益	11,699	13,663
営業外収益		
受取利息	237	342
受取配当金	4,106	811
持分法による投資利益	64	7
為替差益	378	-
その他	258	331
営業外収益合計	5,045	1,491
営業外費用		
支払利息	316	320
為替差損	-	74
貸倒引当金繰入額	73	93
投資事業組合運用損	141	42
その他	85	133
営業外費用合計	617	663
経常利益	16,127	14,491
特別利益		
投資有価証券売却益	4	311
特別利益合計	4	311
特別損失		
投資有価証券評価損	1,058	-
特別損失合計	1,058	-
税金等調整前四半期純利益	15,074	14,803
法人税等	3,021	3,754
四半期純利益	12,052	11,048
非支配株主に帰属する四半期純利益	283	397
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,769	10,650

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	12,052	11,048
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,046	238
為替換算調整勘定	△5,325	2,657
退職給付に係る調整額	3	△15
持分法適用会社に対する持分相当額	△8	0
その他の包括利益合計	△4,283	2,880
四半期包括利益	7,769	13,929
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,987	13,309
非支配株主に係る四半期包括利益	△217	619

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
顧客との契約から生じる収益	40,757	5,044	5,572	29,743	81,119	845	81,964	—	81,964
(1) 外部顧客への売上高	40,757	5,044	5,572	29,743	81,119	845	81,964	—	81,964
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,103	373	49	1,394	2,921	40	2,961	△2,961	—
計	41,861	5,418	5,622	31,138	84,040	885	84,926	△2,961	81,964
セグメント利益	6,310	184	134	4,777	11,408	74	11,482	217	11,699

(注) 1 「アメリカ」の区分は米国、ブラジル等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、ポーランド、オーストリア等の現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、シンガポール、マレーシア、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。

3 セグメント利益の調整額217百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
顧客との契約から生じる収益	42,864	5,465	6,684	35,604	90,619	1,004	91,624	—	91,624
(1) 外部顧客への売上高	42,864	5,465	6,684	35,604	90,619	1,004	91,624	—	91,624
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	949	411	110	943	2,416	1	2,417	△2,417	—
計	43,814	5,877	6,794	36,548	93,035	1,005	94,041	△2,417	91,624
セグメント利益	6,867	226	664	5,676	13,434	37	13,472	190	13,663

(注) 1 「アメリカ」の区分は米国、ブラジル等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、ポーランド、オーストリア等の現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、シンガポール、マレーシア、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。

3 セグメント利益の調整額190百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	3,579百万円	3,950百万円
のれんの償却額	506百万円	545百万円